

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人

明星会

目 次

1	法人本部の事業報告	2	P
2	法人事業所の運営報告	4	P
	◎明星学園・第二明星学園・グループホーム		
	○主な事業の実施状況	5	P
	○利用者の健康管理と保健衛生	10	P
	○利用者の食生活健康管理	11	P
	○広報・職員研修等	15	P
	◎特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）	17	P
	◎明星保育園		
	○主な事業の実施状況	18	P
	◎資料		
	法人の事業所の概要	25	P
	職員の状況	26	P
	利用者・園児の状況	28	P

平成30年度 法人本部 事業報告

1 基本理念

《 みんな幸せになりたい あなたも私も 》

社会福祉法人明星会は、地域において、乳幼児保育を担う明星保育園（定員120名）と障がい者支援（特に知的障がい者及び自閉症者支援）を担う明星学園等（定員110名）を運営する福祉機能体である。

事業所全ての職員が、利用者の方々の“幸せになりたい”をかなえようとする実践を通して、職員自身や利用者の家族、そしてそれを囲む地域までもが幸せになっていく姿を具現化すべく研鑽を深めている。きめ細やかな観察力、知識と経験と正しい人権意識に裏打ちされた係わり、法人、利用者、職員、家族を貫く信頼感、それら無くしては、“幸せになりたい”の実現はない。誰もが（年齢が低かろうが高かろうが、障がいがあろうが無かろうが）幸せになりたい主体として、認め尊重され、個々に異なる幸せを安心して希求できる存在として浮かび上がらせることが我が法人の使命である。

2 法人が行う事業

第一種社会福祉事業	障がい者支援施設	明星学園・第二明星学園・グループホーム
第二種社会福祉事業	保育所	明星保育園
	特定相談支援事業	明星学園一番星、第二明星学園一番星

3 事業の総括

平成30年度は、以下の事項を法人の重点として取組み、概ね達成できたものと考えています。

- (1) 社会福祉法人制度改革法に沿った適正な法人運営
- (2) 支援の基本姿勢
- (3) 職員の資質向上・利用者支援、保育の充実
- (4) 地域との交流
- (5) 安全・安心の確保
- (6) 第三者評価の導入

3 法人役員（H30.4.1～31.3.31）

理事長	宮下 智				
理事（6名）	下平 薫	原 久	宮下真知子	木下ひろみ	坂井 元信
監事（2名）	福澤 茂雄	大島 英嗣			
評議員（7名）	菱田 博之	矢澤 英峰	北林 正直	原 正光	青木 公子
	西村 礼史	中島 武津雄			

(H30.9.3～)

4 会議の開催状況

理事会	第1回	平成30年5月29日
	内容	平成29年度事業報告・決算報告案等
	第2回	平成30年8月23日
	内容	評議員の選任案、定款の変更案等
	第3回	平成30年11月27日
内容	財産取得案、補正予算案等	
第4回	平成31年1月4日	
内容	明星保育園保育室等改修工事について	
第5回	平成31年3月4日	
内容	明星保育園長の選任、平成31年度事業計画・予算案等	
評議員会	第1回	平成30年6月15日
	内容	平成29年度事業報告・決算報告案等
	第2回	平成30年12月14日
	内容	定款の変更案、補正予算案等
第3回	平成31年1月4日	
内容	明星保育園保育室等改修工事について	
第4回	平成30年3月19日	
内容	平成31年度事業計画・予算案、保育園長の選任案等	

5 財産取得・施設整備（主なもの）状況

○明星保育園

プレールーム改修工事

事業費 5,314 千円

・目的及び事業内容

保育場所の整備（トイレ、手洗場整備等） 職員環境整備（ローカールーム）

・効果

年長の保育場所が確保できた

職場の環境が整備された

○第二明星学園

日中活動支援スペースわくわく

事業費 142,950 千円

設計監理 8,554 千円

工事費 134,396 千円

・目的及び事業内容

日中支援スペースわくわく新築工事 総面積 498.48 m²

支援室 作業室 料理室 アート室 相談室 事務室

・効果

- 生活支援利用者の環境が整備できた
- 日中活動のスペースが広く確保できた
- 料理、アート活動が自由に行うスペースが確保された

旧グループホーム敷地・建物購入（新たなグループホーム建設用）

事業費 7,500 千円

・土地 397.1 m² 建物 90.68 m² 付帯 39.74 m²

平成30年度 法人事業所の運営報告

1 明星学園・第二明星学園

<運営方針>

平成30年度は、「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいも重くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行ってまいりました。

<基本方針>

理念・憲章・行動基準

【 憲 章 】

本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード」（本人中心）を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意思決定支援」を実践する、あなたも私も幸せになる場所です。

【 行動基準 】

- ①笑顔で明るいあいさつを、自分から先にします。
- ②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたらすぐに報告し対応します。
- ③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で、意思決定をサポートします。
- ④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。
- ⑤家族や地域に情報発信し、情報共有します。
- ⑥関わるすべての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

<支援方針>

①施設入所支援

- ・「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供
- ・「自己選択」を尊重した意思決定支援の実施
- ・利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援の実施
- ・利用者の希望に沿った旅行実施
- ・余暇活動、地域行事などに積極的に参加
- ・保護者と連携し、保護者会活動が継続、発展するよう協力
- ・利用者が家族と円滑な交流が継続できるよう支援、家庭との懇談会を実施

②生活介護

- ・利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿ったサービス提供
- ・季節感のあるサービスの提供（お花見、運動会、秋まつり、餅つき大会、どんど焼き等）

③日中活動の充実

- ・言語聴覚士（S T）巡回指導、理学療法士（P T）巡回指導、アート活動、運動療法、音楽療法、アロママッサージ、アニマルセラピー、作業プログラム（生産活動）、ウイークエンドシアターなどの実施

④利用者の希望や要望に応じた、外出、外食、買い物の実施

◎主な事業の実施状況（別紙① 年間報告書参照）

明星学園・第二明星学園

○利用者外出

- ・花見ドライブ（星組） 4/12 大草城址公園 10名、 5/8 台城公園 7名
（月組） 4/10 かざこし公園 8名、 5/9 大草城址公園 13名
（雪組） 4/20 千人塚公園 20名、 5/11 千人塚公園 20名
- ・新緑ドライブ（虹組） 5/20 千人塚公園 32名
- ・秋の遠足 10/17 かざこし公園、北方公園、嶋公園、

○利用者旅行（小グループに分かれて実施）

- ・星組 9回（5/29・30、6/5・6、7/4・5、9/5・6、10/1・2、10/10、11/1、11/28・29、12/18）
日帰り旅行（岐阜県方面等） 一泊旅行（ディズニーランド等）
- ・月組 7回（5/17・18、6/12・13、7/11・12、8/28、9/11・12、10/9・10、11/14・15）
日帰り旅行（白樺湖方面等） 一泊旅行（名古屋港水族館等）
- ・雪組 13回（6/7・8、6/11、7/23・24、7/26・27、8/2・3、8/31・9/1、9/13・14、9/19・20、9/20・21、9/25・26、9/28、10/4・5、10/23・24、11/21・22）
日帰り旅行（山梨県方面等） 一泊旅行（東京方面）
- ・虹組 12回（5/15・16、6/21・22、7/18・19、8/8・9、9/13・14、9/23・24、10/18・19、11/12・13、12/10・11、1/16・17、2/14・15、3/14・15）
一泊旅行（ディズニーランド） 一泊旅行（大阪方面等）

○療法関係（外部講師）

- ・音楽療法[音楽（歌、楽器）を通して聴覚・視覚への感覚を高め情緒の安定・開放を図り音楽を楽しむことを目的としている]

77回（4月6回・5月8回・6月6回・7月6回・8月7回・9月6回
10月6回・11月7回・12月7回・1月6回・2月6回・3月6回）

- ・動作法[臨床動作法の専門講師により実施、弛緩動作、緊張動作のコントロールを学ぶ、
動作のやり取りによって意欲を引き出し、心の活動の改善を図る]
32回（4月2回・5月3回・6月3回・7月2回・8月2回・9月3回
10月3回・11月4回・12月2回・1月2回・2月3回・3月3回）
- ・理学療法士（PT）巡回指導
[心身機能の変化に伴い生活リハビリや車いす等、環境に対する調整などの指導
を受け支援に生かす]
12回（毎月、1回）
- ・言語聴覚士（ST）巡回指導
[口腔ケア、食事支援等の指導を受け支援に生かす]
12回（毎月、1回）
- ・アート活動[外部講師によるワークショップを実施。絵画やアート作品の制作を通して自
己表現、気持ちの開放を図る]
31回（4月3回・5月3回・6月3回・7月3回・8月2回・9月3回
10月3回・11月3回・12月2回・1月2回・2月2回・3月2回）

「アート夏フェスタ 2018」8/7 クラブ発表会（講師 2名） 体育館
- ・アロマセラピー[専門講師によるアロマオイルを用いたマッサージの指導を受け、体と
心を癒す。コミュニケーションを深めるために役立てる]
48回（毎月、4回）
- ・のびのびムーブ[外部講師による運動療法により、高齢化による体力減少の防止のため機
能訓練を図る]
27回（4月2回・5月3回・6月2回・7月2回・8月3回・9月2回
10月2回・11月3回・12月2回・1月2回・2月2回・3月2回）
- ・アニマルセラピー[猫カフェ・乗馬 動物との交流による、心身の安定を図る]
猫カフェ2回（6月・10月）各回に5~10名 店に行き猫と交流を実施
乗馬 5回（5月・7月・9月・11月・3月）各回に5~10名
日本トレッキングに行き、乗馬体験や交流を実施。
- ・わくわくハピネス 利用者が考えた行事
年8回 飛び出すカード作成、パン、スコーン、うどんなどの調理
かざこしこどもの森公園 かざこしなかまの館（体験工房）

○主なイベント

・レクリエーション大会	6/16	・明星きらめき祭	10/28
・餅つき大会	12/13	・クリスマス会	12/23
・いきいきライフ（発表会）	12/23	・どんど焼き	1/15

○各種スポーツ大会等

飯伊地区障害者スポーツ大会	(6/2)	飯田市総合運動場	19名
長野県障害者スポーツ大会	(9/9)	松本平広域公園陸上競技場	
		X-BOWL 松本	16名
飯伊地区ゆうあいレクリエーション大会	(9/21)	飯田市勤労者体育館	25名

○利用者の自治会活動

「しらかば会」

会 議	年12回開催		
	会議の主な内容	年間事業計画、環境・食事等の要望	
主な行事	8/25 焼肉会	(わくわく)	
	12/19 忘年会	(中華料理 食縁)	

「なかよし会」グループホーム自治会

会 議	2/24 総会（発足式）		
	会議の主な内容	年間事業計画、地域交流、ホームに対する要望	
主な行事	2/24 新年会	(平谷村 ひまわりの湯)	

○家族会関係

・家族会食会	5/27 (レストラン、温泉等)		
雪組	阿智村 鶴巻荘	47名	
	飯田市 ピノキオ	17名	(家族不参加)
	飯田市 かなえ茶屋	12名	(家族不参加)
虹組	飯田市 油屋	22名	
	カラオケ・焼肉	29名	(家族不参加)
	月組 阿智村 阿智川	48名	
	飯田市 一番カルビ	5名	(家族不参加)
	星組 飯田市 テッシン	36名	
	飯田市 はら宿	7名	(家族不参加)
・夏の家族懇談会	8/5		
・冬の家族懇談会	12/23		
・春の家族懇談会	3/24		

○防災防犯関係

- ・地震総合防災訓練 9/1
- ・消火訓練、応急手当訓練 9/4
- ・深夜想定夜間合同訓練 3/7
- ・避難訓練 年間12回 (毎月20日を目途に実施)
- ・防犯訓練(通報訓練) 11/14 オクレンジャー通報システム導入
- ・非常用発電機(プロパンガス式)購入

○地域交流

- ・ボランティア (株)オムロン 6/20 30名
電機連合飯田 9/30 20名
松川町日赤奉仕団 11/9 13名
飯田市日赤奉仕団 11/21 20名
- (行事) レクレーション大会 6/16 東中学校 11名
明星きらめき祭 11/5 75名(交流含む)
旭ヶ丘中27名、緑ヶ丘中43名、
国際ヨウチリスト4名、個人1名
いきいきライフ2018 12/23 4名
- ・中学校交流会(各回15名程度)
緑ヶ丘中学校 5/12、9/8、12/1 旭ヶ丘中学校 5/19、10/8
- ・中学校交流会
旭ヶ丘中学校(かやの木祭)9/29 利用者 20名
- ・中学校
おもしろプラン 主に外食交流会のボランティア
4回 7/8(緑ヶ丘中学生12名) 9/2(東中学生12名)
11/17(東中学生8名) 11/24(緑ヶ丘中学生9名)
- ・高校
飯田高校交流演奏会(ふれあいコンサート)
4/1(40名 平成29年度事業) 3/31(40名 平成30年度事業)
- ・地元地域
駄科夏祭り 8/15 地域交流、生產品販売
竜丘市民運動会 10/7 地域交流
竜丘地区文化祭 11/10・11 作品展示
飯田市ふれあい広場(会場さんとぴあ) 7/14~16 アート作品展示
飯田市美術博物館市民ギャラリー 11/6~11 アート作品展示
JAみなみ信州支所 11/20~22 アート作品展示
アピタ飯田店 11/27~12/4 アート作品展示

・中学生

福祉体験学習 8/28～29 鼎中 4名
10/16～18 旭ヶ丘中 4名

・保育園

明星保育園 いも苗植え 5/22 29名 園児25名
いも掘り 10/11 28名 園児24名

・短期大学

おもしろプラン 8/26 松本短大 2名
保育実習 11/5～11/16 (信州豊南短期大学)
施設実習 7/30～8/10、2/25～3/8 (上田女子短大)
8/20～8/31 (松本短大) 1/21～2/1 (県福祉大学校)
2/12～2/23 3/11～3/22 (信州豊南短期大学)

・大学

体験実習 9/31 愛知淑徳大学

・生産物販売(主なもの)

5/29 飯田合同庁舎 (飯田合同庁舎ロビー)
6/26 飯田市役所 (飯田市役所ロビー)
7/3 飯田合同庁舎 (飯田合同庁舎ロビー)
7/21 明星保育園
9/25 飯田合同庁舎 (飯田合同庁舎ロビー)
9/6 明星保育園
10/21 飯田女子短期大学 アカシヤ祭
11/10 竜丘地区文化祭
11/10 伊賀良地区文化祭
1/22 飯田市役所 (飯田市役所ロビー)
2/3 駄科地区文化祭
2/5 飯田市合同庁舎
3/23 かざこし子供の森公園

○「本当の気持ちと出会うとき」基金関係

・利用者、職員の芸術活動並びに職員の研究活動への奨励

利用者芸術作品3名 ・職員芸術作品3名 ・職員研究活動2名
に対する褒賞(賞金)を実施(31.4)

○第三者評価

評価機関 一般財団法人 しなの福祉教育総研
実施期間 8月1日から11月30日
対象者 明星学園・第二明星職員の全職員及び利用者20名
評価結果 概ね良好

◎利用者の健康管理と保健衛生

障がいのある方が、そのライフサイクルの中で健康で生き生きとした人生を過ごすには医療との連携が欠かせません。

30年度、学園では保健事業として、年に一度利用者健診（採血、尿、胸部レントゲン）、毎月嘱託医師（前沢医院）の往診、飯田市が施行する大腸がん検診、胃がんリスク検査及び歯科検診を施行しました。また、グループホームの利用者の健康診断と内科健診も合わせて実施しています。

①定期健診等

・利用者集団健診	年1回	・内科健診	年2回
・定期歯科健診	年1回	・定期往診	年4回
・歯磨き指導	年1回	・血圧測定	毎月
・身長	年1回	・体重測定	毎月
・大腸がん健診	年1回	・胃がんリスク検査	年1回

②疾病等の状況

(単位：人)

心臓疾患	6	腸閉塞	1	統合失調症	5
高血圧	12	人工肛門	1	胆のう炎胆石	4
胃潰瘍	3	痛風	3	未熟児網膜症	1
貧血	6	先天性表皮水泡症	1	先天性全盲	6
脳腫瘍後遺症	1	胆癌	1	緑内障	1
脳膜炎	1	乳癌	2	ダウン症	4
くも膜下出血	1	脊椎欠陥	1	白内障	4
脳内出血	1	小頭症	3	視覚障害	8
糖尿病	5	白血症	2	アレルギー	1
バセドウ氏病	1	脳性小児マヒ	14	ソケイヘルニア	1
若年性関節リュウマチ	1	睾丸癌	2	肢体不自由	9
高コレステロール血症	10	てんかん	47		

③入院状況

(単位：人)

胆石	1	内科	てんかん発作	3	脳外科
誤嚥性肺炎	4	内科	白血病疑い	1	内科
左膝蓋骨骨折	1	整形			
			計	10	

平成29年度 11名

④通院（疾病）状況（単位：延べ人数）

精神科	16	泌尿器科	27
内科科	74	整形外科	12
外科	31	形成外科	4
皮膚科	34	脳外科	11
婦人科	0	耳鼻科	1
歯科	318	救急	6
眼科	7		
循環器	12	計	553

平成29年度 739

⑤定期処方

精神科	65名	定期内服処方	延べ	552名
内科	30名	定期内服処方	延べ	335名
婦人科	0名	定期内服処方	延べ	0名
循環器	2名	定期内服処方	延べ	12名

⑥検診結果 要受診以上（単位：人）

腎機能	3	貧血	3
白血球	1	脂質	3

⑦感染症状況

インフルエンザ予防接種者	101名
インフルエンザ感染	0名

⑧介護の状況（単位：人）

車イス	18	排せつ介助	74
聴覚障害	0	口腔ケア	90
視覚障害	6	入浴介助	68
食事介助	20		

⑨令和2年に向けて

- ・血液検査項目の見直し、体幹機能改善に向けての取り組み

◎利用者の食生活健康管理

当学園を利用している方は年齢、体重、作業状態、病弱等で摂取量について幅広く献立表を3通りのグループに分けて作成し、総エネルギーを算出している。なお、肥満防止食、刻み食等は必要に応じて献立し、療育の効果を上げている。現代の食事は、飽食時代を迎えており、かつてのような満腹と言うよりは、簡便で良質な食材を用いた高いエネルギーを摂取することに力点を置き、食欲をそそるような盛り付け、家庭的な食事環境の設定等、思考をこらし、かけがえのない人生の喜びが食事を通して彷彿として湧出

するよう心掛けている。

平成 26 年 11 月より減塩を強化した。その時の献立に含まれる月間平均塩分量は、16g で平成 27 年度末までに 11g 以下を目標と定め、目標達成をした。平成 28 年 3 月には 8g 以下となり、平成 30 年度も 8.1g を達成した。

減塩の効果の指標として高血圧の傾向にある利用者の割合を看護師に聞くなどして調べたところ、一部の降圧剤を飲んでいる利用者を除いて安定しており、減塩運動以前は降圧剤を飲んでいた利用者も飲まなくなったとのことであった。味に関しては、当初薄味になってしまい喫食量が減ってしまうのではないかと危惧していたが、皆薄味に慣れていき、それどころか残食量も減っていった。

利用者によりわかりやすく献立を掲示するために調理品を撮影しホワイトボードにその日の献立を貼るといったことを行った。最初、利用者は見ないのではないかと、職員の仕事が増えてしまうのではないかと考えていたが、利用者も職員も習慣になり毎日の楽しみになってきているようである。

当学園は各クラス 5 つの組織が 4 つの建物に分かれているため食数の伝達にタイムラグや齟齬が発生することがあるため 5 年以上続いたシステムを見直すこととした。より、業務を省略し簡便なシステムを作り今年度 6 月より開始予定である。

<行 事 食>

日 付	内 容	献 立
5 月 5 日	端午の節句	昼: サラダ巻き・稲荷寿司 茶碗蒸し 天ぷら(えび・ピーマン・ごぼう) 菜の花わさび和え・清汁・ 奈良漬け 間食: 米粉ヨモギ鶯あんカップ ケーキ
8 月 14 日	盆	昼: あさり・コーン御飯 天ぷら(なす・えび・ピーマン) 大根田楽 きゅうりの粕もみ メロン すまし汁 間食: てんぷらまんじゅう
9 月 22 日	秋のお彼岸	おはぎ(あんこ・胡麻・きなこ) 天ぷら(ナス・ピーマン・えび) 大根そぼろ煮・吸い物 ほうれん草お浸し・奈良漬け・
10 月 28 日	秋の遠足	松茸風味御飯・唐揚げ・レタス 海老フライ・ツナじゃが煮

		ウイナー・菜の花わさび和え・ 黒豆、厚焼き玉子、お茶
11月6日	明星きらめき 祭(出店)	明星学園のカレーライス 三元豚のかつ丼 栄養士特製唐揚げ 具だくさん豚汁
12月9日	もちつき大会	おしるこ・お雑煮・大根田楽 ブロッコリー和え・バナナ・漬物 アジフライ(餅食べない人)
12月23日	クリスマス会	焼豚炒飯 or ミートソースパゲティ モミの木型ハバーグ 蟹クリームコロッケ 大きめエビフライ・鯖チャザダ 唐揚げ・ポトフ風 レタス・ブロッコリー・ミニトマト・フライドポテト お茶・ケーキ オレンジジュース・ビール・日本酒 (希望者)
12月31日	年越し	御飯・胡瓜の粕もみ・鮪刺身 すき煮・昆布巻き・田作り・黒豆 そば汁・みかん・きんつば 温泉卵・林檎ジュース
1月1日	正月	昼: 御飯・天ぷら・刺身・黒豆 紅白蒲鉾・伊達巻・なます・栗甘 露煮・干し柿 みかん・雑煮汁 夕: 赤米御飯・豚生姜焼き・野菜 の煮物 数の子・白菜レモン風味和え・味 噌汁
1月2日	正月	天ぷらとろろうどん 大根田楽 オクラなめたけ和え みかん
1月14日	どんど焼き	もち粥・鮭の酒蒸し・厚焼き玉 子・五色なます 雑煮風汁
2月3日	節分	エビ天とかき揚げ 太巻き・いなり寿司 茶碗蒸し・菜の花わさび和え すまし汁・みかん
3月3日	ひな祭り	ちらし寿司・

		天ぷら(エビ・ピーマン・ごぼう) 茶碗蒸し・清汁・桃タルト 菜の花なめこ辛子和え
3月18日	春のお彼岸	ぼたもち(きな粉・胡麻・あんこ) えび天・ピーマン天・南瓜天 ごぼう&人参天 ふきの煮物・ 小松菜のピナッツ和え 漬物・吸い物

<特別食>

内 容		人 数
主 食	一 般 食	98
	お 粥	2
副 食	普 通 食	80
	一 口 食	1
	粗 刻 み 食	8
	細 刻 み 食	11
特 別 食	減 塩 食	1
	ムース・ソフト食	2

◎広報・職員研修等 (明星学園／第二明星学園)

・広報活動

機関紙発行「プリズム」 1,500部作成 年2回(8月、2月)
配布先 関係機関350 学園関係300(法人役員、保護者、職員)
地域住民(伊賀良地区600、竜丘地区230、地元新井原20)
へ配布

ホームページ運用

学園のホームページを活用し、情報を提供
ブログで出来事を掲載

1年間 142掲載 閲覧数 4,889件

・職員研修等

明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等、研修の機会を設けた。

- ・療育研究会 4回(6/7、7/26、8/31、2/22)
- ・動作法月例会 9回(5/12、6/2、7/7、9/1、10/6、11/3、1/12、2/2、3/2)
- ・介護研修 8/7、23
- ・合同ケース研究会 2/22

・各委員会（必要に応じ随時開催）

委員会	目的・実施事項	開催回数
運営会議	・毎月の行事予定等の日程調整、各クラスの情報の共有、経営に関する課題や緊急性のある問題等を事務局と一体となって検討	月2回
人権倫理	・人権侵害に関する書籍、資料を使って知識を深め、障がい者の人権に関する問題について検討	月1回
衛生	・衛生に関する書籍、資料を使って知識を深め、職員の労働安全衛生に関する問題について検討	月1回
人材育成	・職員の育成を図るため内部研修、外部研修計画の立案	月1回
虐待防止	・内部での虐待事案及び疑いの報告があった場合に調査、審査、報告をする	都度
広報	・「明星学園だより」「ホームページ」及び「ブログ」の編集・発行等広報事業の企画、実施	月1回
相談支援企画運営	・モニタリングの計画、進捗状況の確認。 ・研修、行政からの連絡事項の周知。	月1回

・苦情・虐待・ヒヤリハットに関する件数

平成30年度 苦情・事故・ヒヤリハット件数一覧

	クラス	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	虐待	苦情	事故	ヒヤリ	
明星	月	虐待				2									2				
		苦情								1						1			
		事故	2	1	0	1	0	0	2	0	2	2	1					11	
		ヒヤリ					2	8	18	6	2	1	0	2					39
	星	虐待														0			
		苦情		1	0	0	0	0	0			2	1				4		
		事故	3	2	9	14	11	15	13	20	10	10	4						111
		ヒヤリ	2		0	0	0	0	43	38	10	11	4	0					108
	計														2	5	122	147	
第二明星	虹	虐待													0				
		苦情				1										1			
		事故	5	5	3	2	2	2	4	5	5	2	2	0				37	
		ヒヤリ		2	3	5	5	15	50	20	4	6	8	7					125
	雪	虐待														0			
		苦情			1												1		
		事故	11	9	13	6	7	1	10	5	12	1	5	1				81	
		ヒヤリ		5		1	1	7	23(14)	25(7)	2	0	0	0					16
	計														0	1	118	141	
	計														2	6	240	288	

内容	改善策
着替えの際うまくバランスがとれず、ふらついてしまう。 転倒のおそれ。	職員がしっかりと見守り、体を支える等適切な介助を都度行う。
食堂の座るスペースが狭く、椅子から転倒しそうになる。	食堂の机や椅子の配置を変え、広くスペースが取れるよう座席位置を変更。
服薬の際、他の利用者の薬を誤って渡してしまった。 本人が気づき、誤服薬はせず。	薬袋に記入された利用者名の確認の徹底。
居室に配膳された昼食、夕食を深夜に食べており、食後の服薬タイミングがずれてしまった。 時間が経っているため、食中毒のおそれもある。	食事提供、服薬マニュアルの徹底。 食べて頂けない場合は一度下膳するなど対応を確認。

・職員のメンタルケア、健康推進

①メンタルチェック

中部公衆医学研究所に委託し、職員のメンタルチェックを実施しました。
相談の必要がある場合は、本人が直接申し込めるシステムとなっています。

②職員のメンタルの相談機能を持つ専門機関に委託しました。(メンタルヘルスサポート)

「障がい福祉現場における人材確保、人材育成、職場定着は最重要課題である。本協議会は、職場で相談できる人がいない、家族や友達、仲間にも話すことができない、上司に分かってもらえない、部下との人間関係に悩む、相談したいけど秘密が守られるか等の心配に対して、悩みに耳を傾け、一緒に考える場を設けることで、職員のメンタルヘルスケアの推進を図るものとする。」

③健康推進を図るため、フィットネスクラブに法人が加入し、利用を促進しています。

<メンタルヘルスサポート組織>

飯田下伊那の障がい者関係の5施設が加入し「飯伊圏域メンタルヘルスサポート協議会」を設置(平成27年10月1日)

<相談委託先>

一般社団法人日本カウンセラー協会 上信越支部長野事務所

経費 相談料 30,000円 出張費 実費(約13,000円) 経費は、5施設で負担

平成30年度実績

月	相談者数	男性	女性
4月から9月	20名	5名	15名
10月から3月	16名	5名	11名
合計	36名	10名	26名

※ 所属先、相談内容、職員名は秘密事項であり事務局（学園）ではわかりません。
（平成29年度実績 延べ31名）

○明星学園職員の年休取得率

30年度 78%（パート職員92%）
29年度 74%（パート職員89%）

2 グループホーム（北方のぞみハイツ・北方日の出ホーム）

<運営方針>

北方のぞみハイツ、平成29年7月に開所した北方日の出ホームは、地域の一員として社会生活が送れるよう支援を実施。

余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指し、本体施設と連携強化を図った。

<主な事業>

学園で大きな行事が催される時は余暇を利用して学園の行事に参加。

（各種スポーツ大会、学園大運動会、秋まつり大会、クリスマス会、生活発表会等）

- ・グループホーム交流会（松川青年の家） 5/13 8名参加
- ・焼き肉交流会（近隣の住民を招待） 7/16 20名参加
- ・忘年会（ホーム内） 12/8 全員10名参加
- ・新年会（ひまわりの湯） 2/24 全員10名参加
- ・旅行（第二明星学園の利用者との計画に併せて実施）
7/18・19、8/8・9、9/13・14、9/23・24、10/18・19、11/12・13、3/14・15
（山梨県、東京、大阪等）

3 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

事業所在地 明星学園及び第二明星学園内

<運営方針>

社会福祉法人明星会 特定相談支援事業所 明星学園一番星及び第二明星学園一番星は、次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を実施

- ①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努めた。
- ②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切におこなった。
- ③利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努めた。
- ④自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めた。

<相談実績>

- 明星学園一番星 相談件数61件 対象者（第二明星学園入所者及びグループホーム入居者）
職員7名（常勤5名、パート2名）
- 第二明星学園一番星 相談件数40件 対象者（明星学園入所者）
職員5名（常勤5名）
- ※ 主に区分認定更新に係るサービス利用計画の見直しを行なった。

4 明星保育園

1 保育方針

○乳幼児期でないと経験できない学びを十二分に体験する。

○実体験を通して、様々なことに興味を持ち、主体的に取り組み、工夫し、粘り強くチャレンジする気持ちを育てる。又、子どもたちの試行錯誤する時間と空間のゆとりを保障する。

○ありのままの個性を受け入れられ、人から大切にされ、尊重される経験を通じて、人を思い、人のために役立ちたいという気持ちを育てる。

○地域の人々、障がいのある人々との交流を通じていろいろな人との関わりを持ち、様々な生活があることに思いを寄せることができるようにする。

保育の基本は、家庭や地域社会と連携を密にして家庭養育の補完を行い、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図るところにあります。

2 保育目標

- 自分で考えて自ら動ける子供
- 思いやりの心を持つ子ども

3 事業概要

①保育所入所利用者への支援

・子ども一人ひとりの成長や、個性に合わせたきめ細かい支援とともに、保育内容の充実を図った。

・子どもの健やかな育成を目指し養護と教育の一体化を図るため、年間指導計画に基づき、月案、日案を作成し実践した。

・信州やまほいく（信州自然型保育：豊かな自然を享受し体験的な保育、教育を推進する長野県の制度）を活用し、自然体験や地域交流を兼ねた米作り、芋作りを行った。また、日々の散歩や夏野菜の栽培を通じ、自然や生き物の生態の成長を実感できるように取り組み、草花、虫、水、木の実、落ち葉、氷などで季節に応じた自由遊びを楽しんだり、異年齢との関わりの中で遊び方やコミュニケーションの仕方を学び合ったりすることができた。日々の実践は信州やまほいくのブログを通じて今後も発信していく。

②外部講師による保育活動の状況

活動名	対象児童	講師	実施回数
絵画活動	2歳児以上	飯田美術研究所 桐生 好先生	22
リトミック	2歳児以上	音楽教室主宰 熊谷 暁代先生	21
運動遊び	3歳児以上	子ども身体運動発達指導者 酒井 泰尚先生	12

4 保護者の就労等及び家庭教育を補完した子どもの健やかな育成支援

○産前産後保育・・・6人

○病児保育事業・・・45人

○障害児保育事業（発達障害児への配慮及び対応）

- ・支援を必要とする子どもを積極的に受け入れた。
- ・個別指導計画を作成し一人ひとりに適した保育を提供した。

□飯田市障害児保育事業の対象者の推移

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年長	3	1	4	5
年中	0	4	4	3
年少	3	2	3	4
2歳児	0	2	0	1
1歳児	0	0	1	1
合計	6	9	12	14

○延長保育事業

- ・平成30年度 利用者人数延べ9,473人

□延長保育事業の利用状況

月	利用時間			合計
	16時～17時	～18時	～19時	
4月	154	412	123	689
5月	183	463	155	801
6月	167	485	141	793
7月	197	473	160	830
8月	188	385	116	689
9月	163	421	101	685
10月	223	543	110	876
11月	211	524	126	861
12月	218	441	120	779
1月	233	432	117	782

2月	241	448	123	812
3月	229	482	165	876
合計	2,407	5,509	1,557	9,473

5 チームによる保育体制の充実

- ・チーム保育の理解を深めるための研修を実施した。

○講師 長野県地域支援向上スーパーバイザー

日本相談支援専門員協会顧問 福岡 寿

○研修内容 「クラス作りの助言」

○研修実施回数 7回

6 食育の環境の整備等

○栄養士と保育士による給食検討委員会を開催し、園児の個別の状況にあわせた支援や保護者の要望に反映できるように意識し良質な食事の提供を行った。

○離乳食について、対象児の月齢や発達状況にきめ細かく対応した。また、アレルギーをもつ園児については、献立表を保護者に事前チェックしていただき、配膳はアレルギーの園児専用の食器、トレーを用意し誤食がないよう職員間でチェック体制を整えた。

○栄養士と保育士と連携を図りながら、園児のその日の体調に合わせた献立や個人の嗜好を考慮しながら好き嫌いなく食べられるように食材や調理の工夫に努めた。

○子どもの日やひな祭りなどの行事食に合わせた伝統的な食事や手作りお菓子を用意し、子どもたちが習わしや文化を楽しく、おいしく体験できるように配慮した。

○食材はできるだけ地産地消に努め、信州の郷土料理や地域性や季節感のある食事やおやつを提供した。

7 防災・防犯訓練、交通安全教室

○地震防災訓練

・実施日：9月1日

・内容：職員の緊急連絡網、保護者へのメール、シェイクアウト訓練、引渡し訓練

○避難訓練

・実施回数：10回

・内容：シェイクアウト訓練、避難訓練、消火器訓練

○防犯訓練

・実施回数：2回

・内容：避難訓練、さすまた使用訓練

○交通安全教室

・実施回数2回：

・内容：長野県交通安全教育支援センター、名古熊交番による講話

8 地域の保護者等に対する子育て支援

○一時預かり保育事業（地域の子どもに対する一時預かり）

□一時預かり保育事業の利用状況

月	利用人数	延べ利用日数		
		4時間未満	4時間以上	合計
4月	2	0	6	6
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	1	1	0	1
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	1	1	0	1
11月	2	1	1	2
12月	0	0	0	0
1月	1	2	0	2
2月	0	0	0	0
3月	1	2	0	2
合計	8	7	7	14

○子育て支援地域活動事業（未就園児交流事業）「おひさまくらぶ」年間実績

実施日	主な内容	講師	参加人数
4/25	骨盤ストレッチ	伊藤侑美先生	24名
5/22	さつま芋の苗植え体験	—	55名
6/20	親子リトミック	熊谷暁代先生	30名
7/24	水遊び	—	30名
8/8	人形劇講演	人形芝居ぶくぶく	295名
9/7	親子で楽しく片付け	武井玲子先生	30名
9/22	運動会招待	—	50名
10/11	年長児と一緒にお芋堀	—	49名
11/27	パネルシアター、親子リトミック	—	49名
12/19	紙芝居、クリスマスコンサート	—	27名
1/25	ペープサート	—	20名
2/13	もうすぐ保育園（一日入園）	—	29名

○世代間交流年間実績表

実施日	交流先	主な実施内容	参加人数 (お年寄り)
6/8	北方の空	ふれあい遊び	132 (3)
7/4	北方の空	歌、踊りの披露	140 (3)
7/19	北方の空	太鼓演奏、体操	134 (3)
10/3	北方の空	パネルシアター	17 (10)
10/15	みつばさ	ふれあい手遊び	32 (12)
10/29	みつばさ	紙相撲あそび	32 (15)
11/5	北方の空	太鼓演奏	123 (4)
11/8	みつばさ	太鼓演奏、信濃の国体操	103 (13)

○地域等の関係機関との連携

- ・保育士の人材育成協力を目的に実習生の受け入れや、ボランティア等の受け入れを行った。
- ・実習生、ボランティア等の受け入れ実績

区分	人数	所属機関
実習生 (保育士)	5	飯田女子短期大学
ボランティア	1	旭ヶ丘中学校

○関係機関との連携

- ・円滑な保育運営や利用者の支援にあたり、市町村、児童相談所、学校、医療機関、療育機関、療育機関とケア会議等を開催し、園児及び保護者を支えるネットワークを構築した。特に、飯田市こども発達支援センター「ひまわり」、飯田市立病院、健和会病院とは連携を密にし、統一的な支援に努めた。

□児童相談所との連携・・・虐待3ケース

□飯田市子育て支援課との連携・・・虐待3ケース

□医療、療育機関との連携・・・健和会病院、飯田市立病院リハビリ（言語療法、作業療法）

□研究保育 ○7/26（飯田社会福祉事務所 保育専門相談員 片山徹先生）○9/27（飯田市子育て支援課 保育専門指導員 長沼清子先生）

□飯田市巡回相談件数・・・11件

□飯田市こども発達支援センター「ひまわり」・・・1件

○見学者の受入と対応

- ・入所希望者の見学・・・5人

○家族との連携

- ・個人面談、クラス懇談、保育参加、誕生日会参加などを実施するとともに、子ども一人ひとりの園での生活や成長の様子等をお知らせする「クラス便り」を週1回発行することにより、家族と多面的な協力関係を築くことができた。また、日常生活、遊びの様子などをホームページやブログを通じて視覚的に、リアルタイムで発信した結果、予想を

超えるアクセス数があり、好評をいただいた。

- ・クラス便り発行数・・・年長 60 回、年中 52 回、年少 48 回、2 歳児 43 回、0・1 歳児 51 回

○小学校入学への円滑な移行

- ・個別支援計画に沿って、関係機関と連携し小学校入学に向けた途切れのない支援を積極的に進めてきた。
- ・就学判断・・・4 名

9 ヒヤリハット報告及び医療事故報告

○ヒヤリハットの報告内容

危険度レベル	件数	主な内容	改善策
なし	0	—	—
極めて低い	0	—	—
低い	12	アンパンマンのコロコロ玩具で遊んでいる所へ他児が来て手を伸ばすと、伸びてきた手に噛みつこうとした。	すぐに止め他児を離れたところで遊ばせた。
高い	1	柵を乗り越え、飛び降りようとした。	危ないから柵には登らない、近くでも遊ばない約束をした。
緊急対応	1	ニューラインと消石灰を間違えて使用。	職員で園庭の消石灰を除去。常に使用している物を把握しておく。
その他	0	—	—

○医療事故報告数

区分	年長	年中	年少	2 歳児	0・1 歳児
保育室	1	2	0	1	0
園庭・テラス	1	1	0	0	2
戸外	0	0	0	0	0
合計	2	3	0	1	2

10 苦情処理

月日	内容	対応
7/3	夏の園児服が延長保育の際に汚れた。洗濯で落ちない汚れが付く可能性があるなので活動を行う時には園児服を着用しないでほしい。	園児服は延長保育の活動では着用しないことを周知徹底した。 園児服の汚れはクリーニングして保護者へ返

		却した。
10/5	保育参加で食べた食パンに虫が混入していた。	業者へ報告。衛生管理の徹底、改善を依頼した。
10/24	つくし組2名の保護者より運動会のDVD画像が汚いとの指摘。	業者に報告し編集し直しを依頼した。 保護者に説明し、新しいものを渡した。

○第三者委員

- ・第三者委員へ依頼する事案はなし。

11 職員の資質向上

○質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員について資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るため、園内外の研修や各委員会を設置し資質向上に努めた。

○園内研修（福岡寿先生）

月日	内容
6/11	救命研修（11名参加）
7/3	年少保育参観 講義
7/23	年長、年少、2歳児保育参観 講義
11/12	年中、年少、2歳児保育参観 講義

○園外研修

月日	研修名	参加人数
5/23	信州型自然保育専門研修	1名
6/9	幼年教研究会講演会	1名
6/16	保育所保育士等研修会	7名
7/8	中信地区保育所地域子育て塾	8名
7/28	南信地区保育所地域子育て塾	5名
11/24	キャリアアップ研修会（幼児教育）	2名
12/22	キャリアアップ研修会（幼児教育）	5名

○委員会

委員会名	目的・実施項目	開催回数
職員会	○保育と支援の在り方についての討議、グループワーク、研修	10回

クラス主任会	○保育並びに環境作り、個別支援・クラス作り ○行事の方向性とアウトラインの調整	16回
クラス会	○クラス内の連携をとり問題解決を図り、クラス主任会へつなげる。	38回
給食検討委員会	○アレルギー、離乳食の進め方の内容検討。	12回

◎資料

1 法人の運営する事業所の概要

(1) 明星学園

ア 所在地	飯田市駄科2250番地		
イ 事業所の種類	障害者支援施設		
ウ サービスの種類	生活介護サービス	定員 40名	現員 40名
	施設入所支援サービス	定員 40名	現員 40名
	短期入所サービス（併設型）	定員 4名	現員 3名
エ 建物 延べ床面積	1,842㎡	オ 敷地面積	6,015㎡

(2) 第二明星学園

ア 所在地	飯田市駄科2191番地1		
イ 事業所の種類	障害者支援施設		
ウ サービスの種類	生活介護サービス	定員 68名	現員 65名
	施設入所支援サービス	定員 60名	現員 60名
	短期入所サービス（空床型）	定員 1名	現員 名
エ 建物 延べ床面積	3,673㎡	オ 敷地面積	7,156㎡

(3) 明星保育園

ア 所在地	飯田市鼎切石3928		
イ 事業所の種類	保育所		
ウ サービスの種類	保育所	定員 120名	
	未満児保育	定員 1名	
	延長保育	定員 1名	
	一時預かり事業	定員 1名	
エ 建物 延べ床面積	1,105㎡	オ 敷地面積	2,680㎡

(4) グループホーム（北方のぞみハイツ、北方日の出ホーム）

サービスの種類： 共同生活援助 2棟

	(北方のぞみハイツ)	定員 4名	現員 4名
	(北方日の出ホーム)	定員 6名	現員 6名
・北方のぞみハイツ	飯田市北方68番地7	延べ床面積	183.2㎡
・北方日の出ホーム	飯田市北方61番地7	延べ床面積	171.4㎡

(5) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類： 特定相談支援事業所

明星学園一番星 契約利用者 60名

第二明星学園一番星 契約利用者 50名

所在地は（建物、敷地）明星学園及び第二明星学園内

2 事業所毎の職員体制

明星学園	30年度		29年度
園長	1名	園長	1名
次長	1名	次長	1名
事務長	1名	事務長	1名
主任	2名	主任	2名
生活支援員	18名	生活支援員	17名
支援員（パート）	11名	支援員（パート）	10名
事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名（兼務）	栄養士	1名（兼務）
パート	7名	パート	5名
計	44名	計	40名

第二明星学園	30年度		29年度
園長	1名（兼務）	園長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務主任	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
主任	2名	主任	2名
生活支援員	28名	生活支援員	25名
支援員（パート）	11名	支援員（パート）	13名
事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名（兼務）	栄養士	1名
パート	9名	パート	6名
計	56名	計	52名

グループホーム 30年度

29年度

管理者	1名（兼務）	管理者	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務主任	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
主任	1名（兼務）	主任	1名（兼務）
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
世話人	5名	世話人	3名
パート	8名	パート	9名
計	18名	計	17名

特定相談支援事業所（明星学園一番星）

30年度

29年度

所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）
相談支援専門員	7名	相談支援専門員	7名
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	12名	計	12名

特定相談支援事業所（第二明星学園一番星）

30年度

29年度

所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名	運営委員長	1名
相談支援専門員	6名	相談支援専門員	6名
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	11名	計	11名

明星保育園

30年度

29年度

園長	1名	1名
副園長	2名	2名
主任	1名	1名
保育士	16名	14名
事務員	1名	1名
栄養士	1名	1名
調理師	1名	1名
パート	6名	6名
計	29名	27名

3 利用者・園児の状況

○明星学園・第二明星学園

平成31年3月31日現在

<支援区分別>

(単位：人)

支援区分	明星学園		第二明星学園	
	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
区分 6	28	28 (9)	29	28 (13)
区分 5	10	10 (25)	27	23 (16)
区分 4	3	2 (7)	11	8 (22)
区分 3	0	0 (0)	4	1 (4)
区分 2	0	0 (1)	0	0 (2)
区分 1	0	0 (1)	0	0 (0)
合計	41	40 (42)	71	60 (57)

平均支援 区分	明星学園		第二明星学園	
	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
	5.62	5.65 (5.14)	5.14	5.3 (3.70)

() は、平成23年度のデータです。

<出身市町村>

明星学園

(単位：人)

飯田市	伊那市	駒ヶ根市	松本市	阿南町	高森町	阿智村	南木曾町
9	6	4	2	2	1	1	1
塩尻市	岡谷市	松川町	諏訪市	須坂市	下條村	川上村	泰阜村
1	1	1	1	1	1	1	1
大鹿村	大町市	天龍村	飯島町	豊丘村	安曇野市	計	
1	1	1	1	1	1	40	

第二明星学園

(単位：人)

飯田市	伊那市	岡谷市	松本市	諏訪市	塩尻市	千曲市	茅野市
16	6	4	1	3	2	1	2
松川町	泰阜村	大町市	辰野町	駒ヶ根市	下諏訪町	原村	小布施町
2	1	1	2	2	1	1	1
高森町	信濃町	大桑村	中川村	天龍村	下條村	飯島町	阿智村
2	1	1	1	1	4	1	2
南箕輪村	計						
1	60						

※出身市町村の状況

	飯田下伊那市町村	その他の市町村	人数
平成30年	46.5%	53.5%	99人
平成23年	46.5%	53.5%	99人

<平均年齢>

	明星学園			第二明星学園		
	男性	女性	計	男性	女性	計
人数	24名	16名	40名	39名	21名	60名
平均年齢	45.0歳	44.2歳	44.7歳	49.9歳	49.0歳	49.3歳

明星学園 + 第二明星学園			
	男性	女性	計
人数	63名	37名	100名
平均年齢	48.1歳	46.9歳	47.6歳

入所者最高齢 : 84歳 (男性)
最年少 : 21歳 (女性)

グループホーム

①支援区分別 (単位:人)

支援区分	共同生活援助
区分5	2
区分4	4
区分3	3
区分2	1
合計	10

②出身地の状況

出身市町村

(単位:人)

飯田市	阿智村	豊丘村	大鹿村	泰阜村	横浜市	計
5	1	1	1	1	1	10

<平均年齢>

GH			
	男性	女性	計
人数	63名	37名	100名
平均年齢	47.8歳	46.9歳	47.5歳

入居者最高齢 : 80歳 (女性)
最年少 : 48歳 (男性)

◎明星保育園 園児の状況

地区別人数（平成30年4月1日現在）

	在籍人数	鼎	伊賀良	松尾	座光寺	その他
年長	25	18	4	1		2
年中	25	23	1		1	
年少	23	20	1			2
2歳児	20	13	3	1		3
0.1歳児	16	12	2			2
合計	109	86	11	2	1	9

保育種別人数（平成30年4月1日現在）

	4歳児以上	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	小計	合計
標準保育	15	11	5	6	4	41	120
短時間保育	34	13	15	13	4	79	

園児の利用実績

平成30年度園児数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	1	3	3	5	6	6	6	8	9	9	9
1歳児	16	16	17	18	18	18	18	17	18	20	20	20
2歳児	22	22	22	22	22	22	21	21	22	22	21	21
3歳児	31	31	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30
4歳児	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24
5歳児	25	25	25	25	24	25	24	24	24	24	24	24
合計	120	120	123	124	126	127	124	123	127	130	129	129

経年の園児数の推移 平成25～30年度（各年度4月1日現在）

園児数の推移

定員 120人

	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30
0歳児	3	4	4	2	2	1
1歳児	18	17	17	17	14	16
2歳児	20	20	20	20	20	22
3歳児	28	30	30	25	23	31
4歳児	30	28	28	27	25	25
5歳児	35	30	30	30	25	25
計	134	129	129	121	109	120

入所児における未満児の割合

各年度3月現在

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
未満児	37	41	39	43	41	42	47
以上児	87	95	93	87	84	81	73
全体	124	136	132	130	125	123	120

行事等の写真

○明星学園のくらし・行事など



アート夏フェスタ



アート展示会（イオン、JA、アピタにて実施）



きらめき祭



サマーハイク



クラス旅行

○保育園の行事など



運動会



もちつき



田植え



世代間交流会



明星太鼓



けん玉